

社会教育委員として障害のある人への理解を深めよう —平成27年度南丹地区社会教育委員連絡協議会研修会—



宝積会長のあいさつと工藤委員による司会進行

10月23日（金）府立丹波支援学校を会場に、平成27年度南丹地区社会教育委員連絡協議会研修会が、多くの委員の参加のもと開催されました。

今年度は、府立丹波支援学校及びたんば地域支援センターの協力で、施設見学や講演会を行い、障害のある人への理解、特に発達障害などの見えにくい障害について、研修を深めました。



来賓の西村南丹教育局長と
西村府立丹波支援学校校長による祝辞



府立丹波支援学校による教育活動等の説明のあと、施設
見学を行い、様々な施設や取組の工夫を学びました。



【講演】「発達障害のある人たちへの理解

—見えにくい障害の困難さを捉える—

講師：府立丹波支援学校たんば地域支援センター 地域支援コーディネーター 佐藤 雄太 先生

【参加者の感想】

- 職業訓練の施設を見て、将来を見据えた指導や専門的な先生に教わる等、児童生徒がしっかり支えられていると感じた。
- 発達障害等について教えていただき、とても勉強になった。身近に障害のある方がおられるので、学んだことを地域で活かしていきたい。
- 児童生徒の表情が明るいのが印象的だった。施設が古くなってきている中、工夫されている様子がわかった。
- もっと多くの人に特別支援教育について、理解が深まればと思う。社会教育委員として、学ぶことの多い研修会だった。



講演会後に交流協議が行われ、研修で学んだことや、今後、地域でどう活かしていくか等、意見交換しました。